

千葉教育

梅

平成29年度
No.647

12・1月

千葉の子どもたちの未来のために

特集 高等学校における特別支援教育の現状と展望

○シリーズ 現代の教育事情

東洋大学ライフデザイン学部教授 是枝喜代治
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

田中 裕一

県教育庁教育振興部特別支援教育課

県立佐倉南高等学校長

中原 章子

○提言

株式会社ウェザーニューズ 取締役最高運営責任者

安部 大介



千葉県総合教育センター

◆学校自慢

地域とともに歩み、9年目を迎えた小中一貫校 長狭学園（鴨川市立長狭小学校・長狭中学校）校長 渡邊 弘仁

◆提言

リーダーとしての「学校の先生」は自ら夢や Vision を語ろう 株式会社ウェザーニューズ 取締役最高運営責任者 安部 大介 …2

シリーズ！ 現代の教育事情 高等学校における特別支援教育の現状と展望

- 高等学校における特別支援教育の充実に向けて 東洋大学ライフデザイン学部教授 是枝喜代治 … 4
- 高等学校における通級による指導の制度と準備の状況 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 田中 裕一 … 6
- 高等学校における特別支援教育の充実に向けて 県教育庁教育振興部特別支援教育課 … 8
- 互いを認め、共に育つ学校であること～佐倉南高校とさくら分校の交流と連携～ 県立佐倉南高等学校長 中原 章子 …10

私の教師道

- 学校を創る 地域に生きる・生かされる工業高校へ 県立東総工業高等学校長 名取 康雄 …12
- 学校を支える 「児童・地域・教師みんなが幸せになる学校」を目指して 銚子市立清水小学校教頭 寺本 貴幸 …14
- 学校を動かす 「主役のために」教務主任としてできること 君津市立南子安小学校教諭 平上 浩之 …16
- 研修を生かす 教職員全員が意欲的に取り組む研修体制を目指して 横芝光町立東陽小学校教諭 行木 裕透 …17
- 授業を創る 多様な考えにふれ、思考を深める道徳の授業 鋸南町立鋸南小学校教諭 岩崎 由紀 …18
- 子どもを知る 子どもから学び、共に成長していく 浦安市立高洲北小学校教諭 鈴木 孝平 …20
- 子どもを知る 自己への挑戦～生徒主体の指導を心掛けて～ 県立東金高等学校教諭 久保木 怜 …20

活・研究 長期研修生からの報告

- 小学校編 書くことにおける説明する力を高める学習指導
～相手意識を中核とした学習プロセスの工夫と場の設定を通して～ 山武市立緑海小学校教諭 内山恵美子 …21
- 小学校編 「授業スタンダード」の作成とその実践的検討
～全校で取り組むユニバーサルデザインの授業づくりを通して～ 館山市立北条小学校教諭 鈴木 香 …24
- 中学校編 中学生によるネットいじめの対策プログラムの在り方
～観衆・傍観者から仲裁者への変容を促す実践を通して～ 東金市立東金中学校教諭 三戸 雅弘 …27

情報アラカルト

- 学校における合理的配慮 ～「合理的配慮事例集」を活用して～ 県教育庁教育振興部特別支援教育課 …30
- 「見る」だけじゃもったいない！～博物館活用法の一例～ 県立中央博物館 …32
- 分析ツールを活用して、ちばっ子の学力向上と指導改善に役立てましょう！ 県総合教育センター学力調査部 …33
- 研究発表会ご案内「千葉の子どもたちの未来のために」 県総合教育センター・県子どもと親のサポートセンター …34
- 休日開放事業について 県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発担当 …35

学校 NOW！

- 学校歳時記 働き方改革への学校の対応をどう進めるか 教育創造研究センター所長 高階 玲治 …36
- 笑顔がいっぱい 「思いやりのバトン」で「つながる」心 酒々井町立酒々井小学校教諭 山田菜津子 …38

◆千葉歴史の散歩道

山野貝塚 ～縄文の景色を今に伝える貝塚～ 文化財課埋蔵文化財班・文化財主事 牧 武尊

道標

高等学校における特別支援教育の現状と展望

平成18年の学校教育法の改正では、高等学校において、教育上特別の支援を必要とする生徒に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うことが明記された。校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターの指名といった基礎的な体制を整えたり、通常の授業の範囲内で個別に配慮したりしながら、特別支援教育の推進に向けて取り組んでいるところである。

他方、小学校、中学校、義務教育学校及び中等教育学校の前期課程においては、「通級による指導」（大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別の指導を特別な場で受ける指導形態）が実施されている。通級による指導を受けている児童生徒数は年々増加し続け、「平成28年度通級による指導実施状況調査」（平成28年5月1日文部科学省）では、約

9万8千人に達しており、本県では5千人を超えている。これらの児童生徒を受け入れている高等学校においても、学びの連続性を踏まえた障害に応じた特別の指導が受けられるようにするために、小・中学校等における通級による指導に相当する「学びの場」の早急な整備が求められ、高等学校における通級による指導が制度化された。

本県は、平成26年度に「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育充実事業」を文部科学省から委託され研究を進めてきた。

本号では、生徒への指導・支援や校内体制づくりなど、障害のある生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する視点に立ち、高等学校における特別支援教育について考えていきたい。